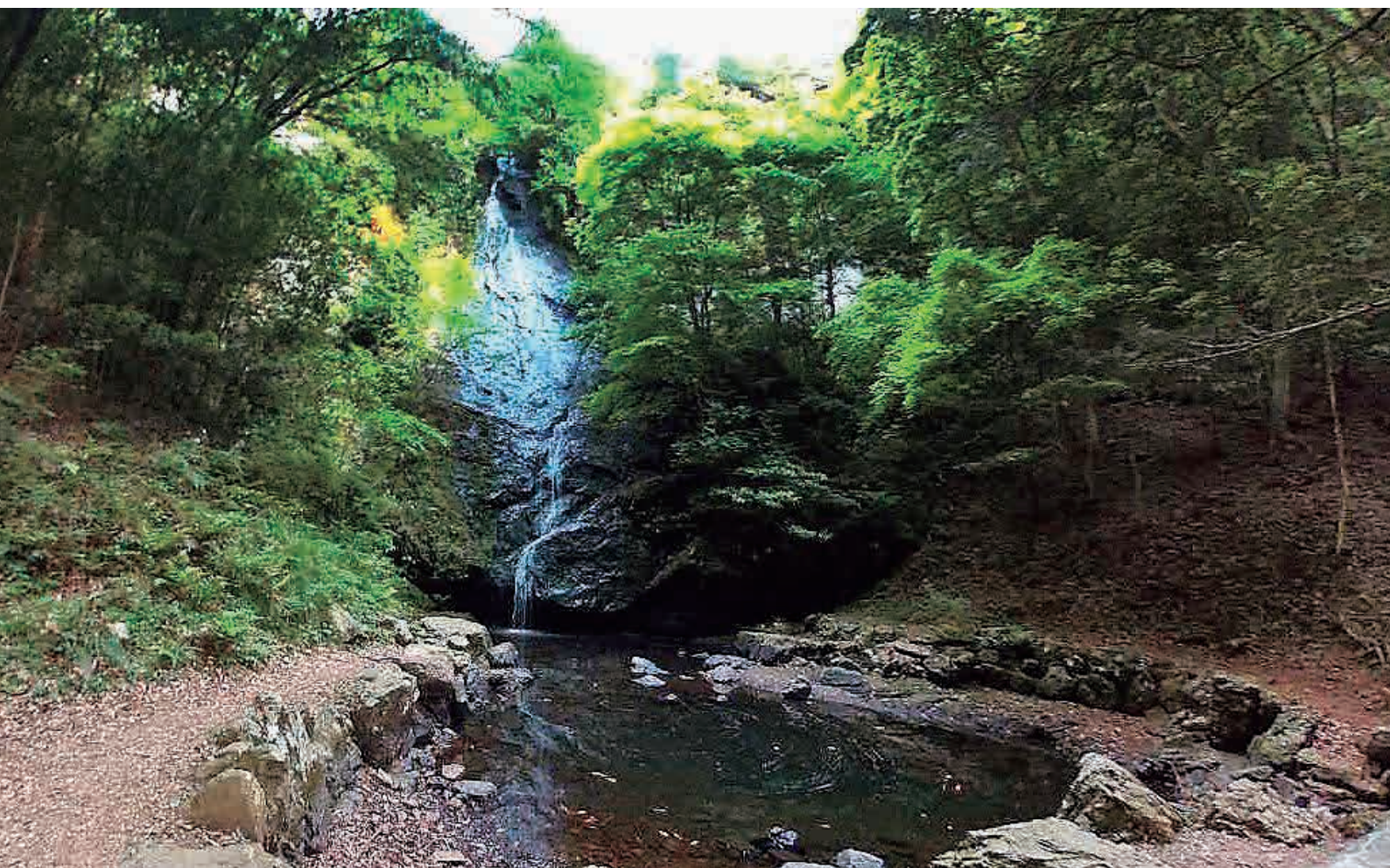


地域のみな様と、私たちをむすぶ広報誌



京都中部総合医療センター

Kyoto Chubu Medical Center



CONTENTS

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| ■院長挨拶① | ■日本糖尿病療養指導士⑦ |
| ■多くの物資をご寄付いただき
ありがとうございました② | ■熱中症の予防と対応⑧ |
| ■働き始めて③ | ■薬をいくつ飲んでいますか?⑨ |
| ■感染症対策の設備や取り組みを
ご紹介します⑤ | ■タンパク質をしっかり摂り、
筋肉を維持しましょう⑨ |
| ■公立南丹看護専門学校⑥ | ■核医学検査って?⑩ |

表紙 (琴滝: 京丹波町)

高さ43mの1枚岩の上を、流れ落ちる水が13弦の琴糸のようにみられ、林間に響く水音が琴の音のようにこだますることから琴滝と呼ばれる。付近には胡麻分水嶺があり、滝の水は長い道のりを経て、やがて須知川、由良川と合流して日本海に注ぐ。

地域医療支援病院 臨床研修指定病院
救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療病院 第二種感染症指定医療機関
地域周産期母子医療センター ヘき地医療拠点病院
京都府地域リハビリテーション支援センター
京都府災害拠点病院 (地域災害医療センター)
DMAT指定医療機関 認知症疾患医療センター
エイズ拠点病院 京都府難病医療協力病院

京都中部総合医療センター

〒629-0197 京都府南丹市八木町八木上野25番地
TEL 0771-42-2510代 FAX 0771-42-2096

<https://www.kyoto-chubumedc.or.jp>





2020.7

Vol.47

夏号

病院の理念

地域の拠点病院として、患者さん中心の良質な医療を行い、地域に愛され信頼される病院を目指す。

病院の基本方針

1. 常に患者さんの立場にたち、権利を尊重して医療を行います。
2. 地域医療支援病院として地域の医療、介護や福祉等との連携を推進します。
3. 救急医療体制を充実し、いつでも安心して受けられる医療を目指します。
4. 集学的医療の提供を推進し、地域で完結できる高度ながん医療を行います。
5. チーム医療を強化し、医療の質や安全性の向上のため、全ての職員が資質の向上に努めます。
6. 公営企業としての役割を果たすため、経営の効率を高め、健全な経営に努めます。

患者さんの権利と責務

私たちは患者さんの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた医療を行います。

1. 説明を受ける権利
2. 治療を選択する権利
3. 情報を知る権利
4. 個人情報の保護を受ける権利
5. 自分の健康情報を正確に提供する責務
6. 説明を理解するまで問う責務
7. 病院での規則に従う責務

院長挨拶

感染症危機に対応できる医療体制の構築を目指して

院長 たつ み てつ や 辰巳 哲也

今年も山々が新緑に染まり、美しい紫陽花が咲く季節が訪れました。病院の周りでも田植えがほぼ一段落し、水田に映る山並みや夕日が水無月にふさわしいのどかな田園風景として目を和ませてくれました。新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の対応に没頭する日々が続き、春から夏へ季節が巡っていることも忘れていたような感覚になります。

2019年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市から広がった新型コロナウイルス感染症は全世界で感染が拡大し、2020年5月末には世界の感染者数611万人、死亡者数37万人に達し、日本でも感染者数16,884人、死亡者数892人となりました。政府は4月7日、7都府県に緊急事態宣言を発令し、16日には対象を全都道府県に拡大しました。京都府においても外出自粛、イベントの開催自粛、施設の使用制限の要請等、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた措置が取られました。京都府内でもクラスターの発生や院内感染が発症して、感染症指定病院だけではなく、大学病院、救命救急センターを中心に増加する感染症患者への診療を行ってきました。5月21日に京都府もようやく緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常を取り戻すことができつつありますが、ウイルスが消滅したわけではなく、厚労省が公表した新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を参考にし、基本的な感染対策を続けていくことが必要かと考えます。

最近になってやっとマスコミも報道するようになりましたが、新型コロナウイルス感染症における医療現場は精神的・肉体的にも疲弊しているという切実な声も聞かれます。まずは迅速抗原検査キットを普及させ、さらに唾液を含めたPCR検査のすそ野を広げて、有症状患者の診療はもちろん、無症候・軽症患者からの感染リスクを低減させる必要があります。また、急速に重症化した患者の搬送システムの構築、疑似症患者の入院ベッドのさらなる拡充、感染が急増した際の个人防护具（PPE）などの医療物資の供給体制の整備など、感染症医療機関への十分な支援がないと感染症対応はもちろん、本来あるべき地域医療が行えなくなり医療崩壊を招く恐れがあります。

人類の歴史は、感染症との闘いの歴史でもあります。人が免疫を持たない病原体はときに爆発的に感染を広げ、社会を大きく揺るがしてきました。未知のウイルスが引き起こす感染症危機に対してどのような医療体制を再構築しておくべきかという議論はこれまであまりなされた記憶がなく、感染症への管理体制が脆弱であることが露呈したように思えます。病院側もマネジメント体制を平常時から非常時に移行させることが極めて困難であることを痛感しました。「非常時の医療体制を役割分担することでいかに効率よく構築するか」という議論を地



域レベルで今後も継続して行っていく必要性を感じます。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症の対応にあたり不足したマスクやガウンなどの物資をお送り頂きました多くの皆様に心からの感謝を申し上げます。また院内感染防止のため、厳格な面会制限を設けてきました。入院患者様やご家族様にはご心配やご不便をお掛けしていますことを、この場をおかりしてお詫び申し上げます。新型コロナウイルス感染症との闘いはまだ続くかと思いますが、過度に診療が抑制され本来の病気が重症化しては本末転倒です。第二種感染症指定機関として感染防止に細心の対応をして、地域の皆様が安心して受診され本来の診療を受けて頂けるよう、職員が一丸となって最善を尽くす覚悟です。今後とも皆様の御協力と御支援を賜りますようどうか宜しくお願い致します。



地域の皆様から寄せられた病院への応援メッセージ

多くの物資をご寄付いただきありがとうございました

新型コロナウイルス感染症の流行によりマスクや防護具などの医療物資が不足しておりましたところ、市民の皆さまや南丹市役所、亀岡市役所、京丹波町役場や近隣の事業者の方々など多くの方からマスクや手作りガウン、激励のお手紙など心のこもったご寄付を頂戴いたしました。

職員一同大変感謝しており、いただいた物資は大切に使用させていただいています。今後も地域の感染症指定病院としての役割を果たしてまいります。



写真上：西村南丹市長(管理者)から辰巳院長へ物資のご支援をいただきました。

写真左：病棟や外来など多くの場所で頂戴した手作りガウンを使わせていただいています。

京都中部総合医療センター 新人職員のメッセージ

研修医 Resident

あべ あきこ
阿部 秋子

4月入職時は不安も大きく緊張の毎日でしたが、3ヶ月経ち、熱心にご指導くださる先生方や切磋琢磨してくれる同期、優しく頼もしいコメディカルスタッフの方々に恵まれ、充実した日々を送っております。医師として、社会人としてまだまだ未熟者ではありますが、謙虚さや緊張感を忘れず、この地域の医療に貢献できるよう精進してまいります。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



看護師 Nurse

はまだ はるな
濱田 晴菜

患者さんに寄り添った看護がしたいという想いを胸に入職して3ヶ月が経ちました。実際入職してから見る看護の現場に、想像以上の忙しさと慣れない看護援助で戸惑うことも多いです。しかし、先輩方から丁寧なご指導をいただき私も患者さんのためにできることが少しずつ増えてきたように思います。医療の現場では毎日が学びにあふれています。今後もその学びを大切に、一日でも早く先輩方のように患者さんに寄り添える看護が出来るように一生懸命努力します。



ふじばやし
藤林 シュウ

手術室看護師になりたいと願い、看護学校入学時から勉強に励んできました。入職してから3ヶ月が過ぎ、手術器械・医療機器など覚えることが山積みの毎日で大変です。しかし、手術室看護師として働くことができる喜びを日々感じています。私は小学生の頃に緊急手術を受けました。そして今年、母が全身麻酔で手術を受けました。術前の不安はとて大きいと痛感しました。その経験を忘れることなく、患者さんとご家族の立場に立って物事を考えられる看護師でありたいです。先輩方のように、専門性の高い知識と優れた技術を身につけられるよう努力していきます。



薬剤師 *Pharmacist*

いたみ りか ひとみ しほり
伊丹 里花 人見 志保里

職員のひとりとして業務を行うことは学生時代の実習とは違い、自ら薬剤師として最前線に立つため、正確な調剤や服薬指導などが何より重要なことですので、その責任の重みを実感しております。その中で、今まで気付かなかったことや知らなかったことがあります。先輩方に指導していただき、恵まれた環境の中で経験が積めることを嬉しく思います。

薬剤師は調剤だけでなく、患者さんへ正しい薬の飲み方の指導を行ったり、体調や不安に感じていることを聞き取った上でより良い生活指導を行います。また、医療スタッフの方々ともしっかりとコミュニケーションをとって連携を図り、積極的に必要な情報を提供することで、頼りにされる薬剤師になれるよう努めていきたいと思います。まだまだ未熟で至らない点も多いですが、患者さんに寄り添う気持ちを忘れず、日々研鑽を重ね励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



事務職員（医事課庶務係） *Medical Profession*

ひしき やすひろ
菱城 康太

入職して早いもので3ヶ月が経ちました。ようやく職場の雰囲気にも慣れ始めてきたところです。前職も医事課（外来）で仕事をしていましたが、だいたいの仕事の内容について見当はついていました。新しい環境でこれまでの経験にプラスして知識を吸収できるよう、自ら進んで仕事に取り組んでいきたいです。また、患者さんと接する機会も多い部署なので地域に愛され信頼されるよう日々、仕事に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



今年もたくさんの職員が病院スタッフとして、それぞれの部署で働き始めています。これからも地域の皆さまの健康を支える医療チームの一員として努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

感染症対策の設備や取り組みをご紹介します

当院は第二種感染症指定医療機関として京都府から指定されており、感染症病床4床を整備しております。院内の感染対策設備としては感染症患者さんを診察する特別診察室を備えています。特別診察室は陰圧設備を備えた診察室で、指定感染症の診療はこちらで行っております。防護具の着脱などに関する職員の感染対策研修や南丹保健所との合同訓練も行っております。また救急室内にも感染症の患者さんを診察するスペースを備えており、救急患者さんにも対応できるよう備えています。

新型コロナウイルス感染症対策として発熱患者さんの相談窓口を正面玄関に設置し、受診される患者さんの体調確認を行ってまいりました。



発熱相談窓口

来院される患者さんに正面玄関で体調や発熱について看護師や事務職員が声をかけ、症状のある方には検温や問診を行っていました。



特別診察室

陰圧設備を備えており、指定感染症の診療はこちらの診察室で行います。



感染症病床

病室内は陰圧設備やHEPAフィルターが導入されており、感染症の患者さんの入院加療を行います。



空気感染対応診察室（救急室）

救急室の一角にあり、HEPAフィルターと空気清浄機を備えています。主に救急患者対応で使われています。



個人防護具着脱研修

個人防護具の着脱には繰り返し訓練をすることが必要です。職員に向けて定期的に研修を行っています。



南丹保健所との合同訓練

地域の感染対策として、医療関連施設や行政との連携が大切になります。南丹保健所とも合同で訓練を行っています。

教務主任 あさだ みか 浅田 美佳

本校は新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言をうけ、5月末まで休校となりました。休校中は学生の学習の確保や講義、実習の日程調整をどうしようかと悩む毎日でしたが、京都中部総合医療センターからの協力を得て、遠隔授業を導入することができました。遠隔授業ではスムーズに開始できるかと心配していましたが、学生達は教員よりも操作に慣れており問題なくスタートすることができました。さらにホームページにFacebookが開設され学校の様子などが発信できるようになりました。ICT（情報通信技術）を活用し、より理解しやすい授業を行い教員も学生と共に表現力や技能を高めながら成長したいと思っています。

スタートしたばかりの令和2年度です。ご迷惑、ご心配をおかけすることが多々あるかと思いますが今後ともご指導、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



オンライン講義の光景



靴の履き替えは距離をとって待つ

副教務主任 わきさか さとこ 脇坂 智子

緊急事態宣言が出されてから今日まで、私たちは自粛をしてくれていた学生が戻ってくるのを楽しみにしながら、三密にならないようWeb会議アプリケーションのZoomの導入やゾーニングなど、校内のあちこちを準備してきました。実際にZoom越しで見た3年生の表情は明るく、元気な反応も返ってきました。顔も合わせないまま時間が過ぎるばかりでしたが、このやり取りによって私たちのモチベーションも維持できていたように思います。

また京都中部総合医療センターにも協力をいただき、学生が過ごしやすく、学びやすい環境作りに力をいれています。このように看護学校では新たな体制で在校生を迎えると同時に次年度入学生の準備にも取り掛かっているところです。『カッコいいナースは、知識と技術と“素敵な何か”でできている。“なんかいい”がある本校で一緒に目指しませんか？』これはまだ個人的なコアコンセプトですが、志望者が昨年度より上回るよう努力したいと思っています。

赴任のご挨拶

専任教員 にし かおり 西 香織

本年4月より公立南丹看護専門学校に勤務しております。のどかな環境に囲まれ、四季を感じながら通勤しています。5月は南丹地域は田植えの季節です。水の入った田んぼで響くカエルの声を聞き、植えられた青い苗を見て稲穂の稔る秋を想像しています。自分自身もそのように成長していきたいように初心を大切にしていきたいと感じています。京都中部総合医療センターを身近に感じながら、看護師を目指す学生とともに日々学びを深めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



日本糖尿病療養指導士

Certified Diabetes Educator of Japan / CDEJ



糖尿病は、食事や運動療法、薬物療法といった日常的な患者さん自身による自己管理が大変重要です。糖尿病が適切に管理され、患者さんのQOL（生活の質）が維持できるように、医師の治療方針に沿って、多職種が幅広い専門知識と技術をもって、チームで支援・指導を行っています。当院では、薬剤師3名と管理栄養士3名がCDEJに認定された資格を取得しています。



薬剤部 病棟業務課長 あおき ゆき 青木 有希

薬剤師は、糖尿病教育入院の患者さんへの服薬指導、糖尿病教室での指導のみではなく、外来患者さんへのインスリン自己注射指導など様々な活動をしています。糖尿病の薬物療法は新薬の開発に伴い、複雑化していますが、より患者さん一人ひとりにあった薬物療法を選択できるようになってきています。糖尿病の薬物療法をはじめとして、糖尿病やその療養について不明な点やご相談がありましたら、お気軽にお声かけ下さい。



管理栄養士 にしかわ はるか 西川 悠

管理栄養士は、通院・入院患者さんや近隣医院からの紹介患者さんに糖尿病だけでなく、いろいろな病気に役立つお一人おひとりに合った個人栄養指導を行っております。「血糖が下がりにくい」「体重が減らない」といった食事のことでご相談がありましたら、主治医に栄養指導の希望をお伝えください。患者さんに合った食事療養をサポートいたします。

熱中症の予防と対応

小児科部長 木原 明生



近年は環境温度の上昇やヒートアイランド現象などと言われる都市構造の変化などの要因が重なって、年々熱中症を発症する人数が増加しています。熱中症は、体温の上昇と発汗などの体温調節のバランスが崩れて、どんどん体に熱がたまっていくことにより起こる病気です。軽いものであれば涼しい環境で休んで水分を補給すればよくなりますが、重篤であれば命に関わる場合もあります。

熱中症の危険性は気温だけでなく湿度や周囲の熱環境により左右され、それらの要素を取り入れた暑さ指数(WBGT: Wet Bulb Globe Temperature)という指標があり、危険性の予測に役立ちます。WBGTは環境省のホームページなどに地域別に実況されており、いつでも近隣の地域のWBGTを調べることが可能です。WBGTを用いた日常生活と運動に関する指針を表で示します。

今年は新型コロナウイルス感染症の流行により新しい生活様式が提案されていますので、熱中症予防との両立に悩みますね。感染予防のためにマスクを着用して換気を優先することだけを考えていると、体温や室温が上がってしまい熱中症の危険性が高くなる可能性があります。まず暑い日には不要不急の外出を避け、屋外では十分な社会的距離(2メートル以上)をとれるときはマスクをはずすとよいでしょう。また、室内でエアコンを使用するときには定期的に換気を行い、換気によって室温が上昇してしまわないようにエアコンの設定温度を調節してください。

予防を心がけていても熱中症を発症してしまうことはありますので、それは仕方ありません。熱中症の症状はめまい、失神、筋肉の痛みやこわばり、大量の汗、頭痛、吐き気、体のだるさ、けいれん、動きが悪い、体が熱い、呼びかけに反応がおかしいなど、多彩です。これらの症状がみられたときは熱中症を疑い、もし呼びかけても反応が乏しければ救急車を呼んでください。反応がある場合は、まず涼しいところに避難して服をゆるめて体を冷やし、続けて水分と塩分の補給を試みます。自分で補給ができない場合は医療機関を受診したほうがよいでしょう。また、これらの手当てを行っても症状が良くならない場合は、やはり医療機関を受診してください。京都中部総合医療センターでは小児から高齢者まで24時間体制で熱中症の診療が可能です。受診を迷われたときはお電話でご相談ください。熱中症と感染症のどちらも上手に乗り切って、この夏も無事に過ごせるといいですね。

日常生活に関する指針

温度基準(WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28～31℃※)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25～28℃※)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※(28～31℃)及び(25～28℃)については、それぞれ28℃以上31℃未満、25℃以上28℃未満を示します。
日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より

運動に関する指針

気温(参考)	暑さ指数(WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人: 体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など
(公財)日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

薬をいくつ飲んでいますか？

～お薬手帳を活用しましょう～

薬剤師 ^{ひさみつ あやな} 久光 絢菜



ポリファーマシーという言葉を目にしたことはありますか？「Poly（多くの）」＋「Pharmacy（調剤）」という造語ですが、単に薬の数が多いことではなく、多くの薬を飲んでいるために効き目が弱くなったり副作用を起こしたりすることをいいます。

高齢になると複数の病気になる人が増えてきます。病気が増えることでいくつかの病院や診療科を受診することになり薬が増えますが、薬が増えると薬の飲み合わせが悪いこともあります。薬が効きすぎたり、効き目が弱くなった

り、副作用が出やすくなるのです。また薬の数が多いことで飲み忘れにも繋がります。

薬剤師は薬の飲み合わせについて問題ないかチェックを行っていますが、処方箋だけでは家にある薬との飲み合わせのチェックはできません。飲んでいる薬の記録をするためにはお薬手帳が有効です。病院や薬局に行った際はお薬手帳を活用して、処方されている薬の情報を把握してもらいましょう。また、お薬手帳を1冊にまとめることですべての医療機関からの薬の飲み合わせを確認することが可能となります。市販の薬や健康食品、サプリメントを使用している場合にはその情報も伝えてください。薬を飲んで気になる症状があれば医師や薬剤師に相談してください。

タンパク質をしっかり摂り、筋肉を維持しましょう

管理栄養士 ^{にしかわ はるか} 西川 悠

筋肉を減らさないために食事は大切です。運動も大切ですが、筋肉が減るのを予防したり、増やしたりするためには「タンパク質」はしっかり食べていただきたい栄養素です。

タンパク質は筋肉以外にも肌や血液を作る材料となり、主に肉・魚・卵・大豆製品・乳製品に多く含まれます。まずは、朝ご飯のタンパク質を見直してみましょう。

朝食にタンパク質を取り入れるコツ

パン食の場合

コーヒーを飲まれている場合、牛乳に変えたりコーヒーと牛乳を割り、カフェオレにするなど工夫をすると手軽にタンパク質を取り入れることができます。

また、パンと飲み物以外にゆで卵や温泉卵などの卵料理をつけたりチーズなどをプラスすると手軽にタンパク質を補うことができます。



ご飯の場合

和食は、調理いらずの豆腐や納豆、お惣菜の煮豆などを1品プラスするとタンパク質を簡単に取り入れることができ、おすすめです。

またお味噌汁には、豆腐や油揚げを取り入れる工夫をすることで簡単にタンパク質を補うことができます。



核医学検査って？

放射線科・診療放射線技師主任 おお の かず き 大野 一貴

当院では放射線検査としてX線検査やCT、MRIなど多くの検査を行っております。
そのなかでも今回は核医学検査についてご紹介いたします。

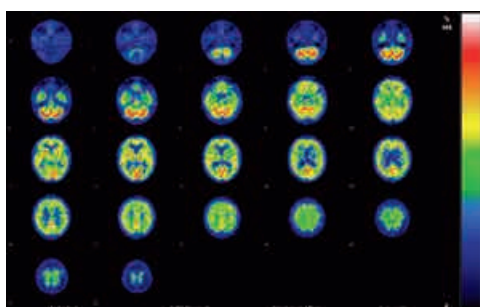
核医学検査はX線撮影・CT・MRIなどの検査と同じく歴史の長い画像診断の一つであり、微量な放射線を出す放射性医薬品を体内に投与し、特定の臓器や組織などに集まる様子をガンマカメラと呼ばれる装置で画像化する検査です。この検査の利点はCTやMRI検査では見ることが出来ない臓器や組織の機能及び代謝状態を評価し、疾患の診断、病期や予後の確認、治療効果の判定などが出来る点です。検査を受けられる方には使用する放射性医薬品により被ばくを伴いますが、人体に影響を及ぼすレベルではなく安全性は確立されています。理由としては放射性医薬品の放射能は微量で、時間の経過とともに少なくなる性質があり、一部は体内で代謝されて体外へ排出されるためです。さらに検査で使用する放射線量は診断参考レベル*(DRLs)と呼ばれる国内外で広く普及している基準から設定し検査を行っています。

当院では脳・心臓・骨を中心に幅広い領域の核医学検査を行っており、常に診断に有用な画像を提供し、検査を受けられる方々が安心して快適に過ごせるよう努めています。検査に対して不安や気になる点があるかと思いますが、その際は主治医または担当診療放射線技師に気軽にお伝え下さい。

* 診断参考レベル (Diagnostic Reference Level(s)) とは？

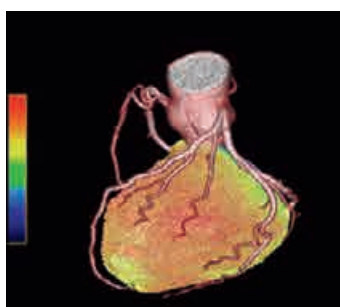
各検査で使用される放射線量を大規模な全国調査から分析し、人体に影響を及ぼさない点も考慮され、多くの施設で取り入れられている適切な放射線量です。

● 主な核医学検査



脳血流シンチ

主に認知症の診断目的に行われ、血流の解析などを行います。



心筋シンチ

CTの血管画像と重ね合わせることで狭心症などの原因となる血管が分かりやすくなります。



骨シンチ

主に骨転移の検索目的に行います。鮮明な画像を短時間で撮影します。

検査機器を更新しました

この度、核医学検査に使用するガンマカメラ装置が最新型(GE社：NM830)に更新され2020年3月より稼働しています。この装置は最新の画像収集・処理プログラムにより短時間の撮影で高画質な画像が得られ、これらの情報から様々な解析を行うことができる点が大きな特徴となっています。さらに当院で撮影されたCT・MRI画像があれば必要に応じて核医学画像と重ね合わせることが可能となり、これにより診断がより正確になります。



令和2年度 オープンキャンパス・学校見学会のお知らせ

公立南丹看護専門学校では、看護師を目指す人々に看護学校について、知っていただくことを目的とし、オープンキャンパス・学校見学会を行っております。

●オープンキャンパス

日 時: 令和2年8月7日(金) 13:00～16:00 (申込受付 令和2年7月31日(金) 17時まで)

内 容: 学校紹介・学校内見学・体験学習・在校生との交流・個別相談など

* 申込人数により募集締切日までに募集を終了する場合がございます。ご了承ください。

●学校見学会

日 時: 令和2年 8月29日(土) 10:00～11:00 (申込受付 令和2年 8月21日(金) 17時まで)

令和2年10月24日(土) 10:00～11:00 (申込受付 令和2年10月16日(金) 17時まで)

内 容: 学校紹介・学校内見学・個別相談など

〈申込について〉

① 電話またはホームページで次の事項を申し込んでください。

・氏名 ・学校名(在学校 or 社会人) ・連絡先(TEL)

② 同伴される保護者がおられましたら教えてください。

受付は30分前より行います。駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

〒629-0196 京都府南丹市八木町南広瀬上野3番地1

公立南丹看護専門学校

TEL 0771-42-5364 FAX 0771-42-5422

<http://www.nantan-kango.ac.jp>



看護師・助産師募集(正職員・臨時職員)

◆ 看護師寮利用できます。(正職員)

月額4,000円(税込)

* 水道費込み

* 冷暖房・キッチン・バス・トイレ完備

〒629-0197 京都府南丹市八木町八木上野25番地

京都中部総合医療センター 総務課人事係

TEL 0771-42-2510(代) まで

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.kyoto-chubumedc.or.jp/nurse/>



編集後記

暑い季節がやってきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、花火大会などのイベントが中止されたりと今年は例年の夏とは少し違う夏になりそうです。家で過ごす時間も多くなると思いますが、適度に体を動かして、元気に夏を乗り切りたいですね。本号では、熱中症についての記事も掲載していますのでぜひご一読ください。

広報委員 S.T.

新型コロナウイルス感染症の影響で、広報誌執筆当時の病院や看護学校の運用、体制が現状と異なる場合がございますが、ご容赦ください。

